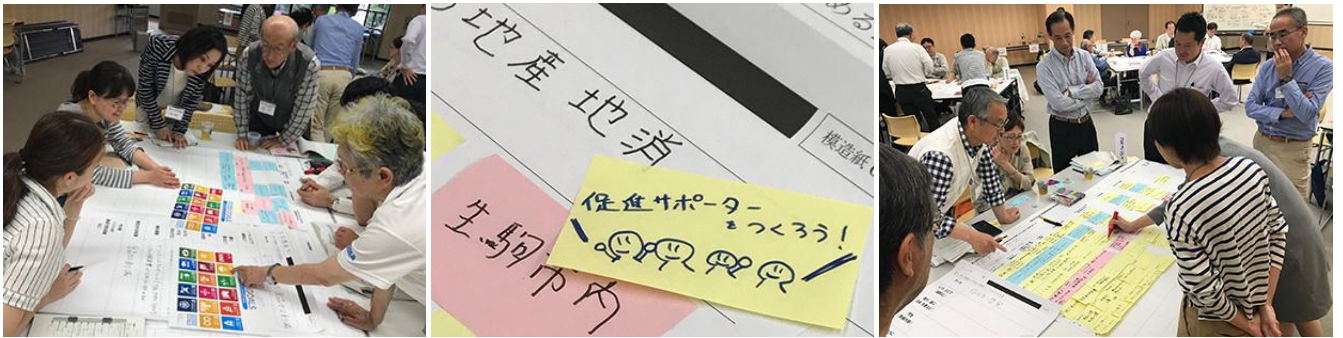


## 第3次生駒市環境基本計画策定 第5回市民ワークショップ 実施概要

- 開催日時：平成30年5月12日(土) 14:00～17:10
- 開催場所：生駒市役所 4階 大会議室
- 参加者数：36名（内、事務局関係者9名、オブザーバー1名）
- 内容
  1. ワークショップ（前回のふりかえり、持続可能な地域づくりに向けた戦略（その2））
  2. 各グループ発表

### 1. ワークショップ

- ・事務局より、前回のふりかえり、ワークショップでの意見・提案の活かし方についてのふりかえり、今回のワークショップの進め方について説明を行いました。
- ・前回、各班で決めた「戦略として深めるテーマと内容」について、「自然環境」「生活環境」「地球環境」「コミュニティ」のそれぞれの班で具体的に深め、提案としてまとめました。



### 2. 各グループ発表

- ・「持続可能な地域づくりに向けた戦略」について、「自然環境」「生活環境」「地球環境」「コミュニティ」のそれぞれの班から、提案の内容について発表しました。
- ・また最後に、各班からの発表内容について、生駒市環境審議会の中西会長、小紫市長よりコメントをいただきました。



## ●結果概要

持続可能な地域づくりに向けた戦略として、各班から、次のような提案がありました。

### ○自然環境班

テーマ	市民で創る生駒の自然
いつ、どこで (場面など)	年間を通じて、里地里山などのフィールド
誰が、誰に (主体、対象など)	市民が全ての市民へ (既存団体に限らない)
何を (取組内容)	生駒の自然を知り親しむ 自然を通じて生駒のシビックプライドUP
どのように どうする (具体的な方法)	自然ビブリオバトル開催 市民が選ぶ「生駒自然遺産」の認定 参加型評価の「いいね」「いいね!!」 自然マップ
検討課題	コーディネート機能の形成
想定される成果	1.市民の自然への関心アップ 2.高齢者の社会参加の機会 3.次世代にわたる自然資源の保全
その他 (SDGsの 達成できる目標など)	⑦エネルギー ⑬気候変動 ④教育 ⑪都市 ⑭海洋資源 ⑥水・衛生 ③保健 ⑰実施手段 ⑮陸上資源 ⑯平和

### 【班の意見交換で提案された取組】

- ・子ども達の寸劇
- ・作文
- ・イベント
- ・素敵な生駒市の自然を選ぶ、百選の公募等
- ・毎月季節にあった百選に親しむツアーを行う
- ・生駒市の残念な自然を公募
- ・公募の多かったものから、その自然を知るツアーをする
- ・シンボリック生き物の保護 (調査、外来種駆除、草刈、ため池管理)
- ・生駒市の自然マップを作成。掲示やHPで紹介し、広く、生駒の自然や課題を知ってもらう。
- ・スタンプラリー方式で、携帯アプリなどと連携
- ・自然の観察、保全、体験 (エコツーリズムやグリーンツーリズムの展開を年間プログラム化)
- ・生物 (観察、遊びにできる)
- ・環境フェスタのNEXT、屋外へ (興味のあるテーマを投票で決め屋外イベントへ)
- ・里山や遊休農地を利用して、アートフェスティバル (自然の豊かさとアートのコラボで里山の再発見)
- ・地元のいいとこアピール合戦 (魅力的な場所“行ってみたい”場を選び「生駒自然遺産」を決める)

○生活環境班

テーマ	1. 地域ぐるみの移動サポート	2. IT を活用した食品ロス削減
いつ、どこで (場面など)	できるだけ早く、自治会単位 (2019年度)	日常の買い物
誰が、誰に (主体、対象など)	運転ができる住民が、交通弱者に (移動手段をもたない人、移動手段がない人)	事業者 (スーパー・小売) } ⇔消費者 農家
何を (取組内容)	有償による移動(送迎)サポート	・消費期限が近い食品の情報 ・規格外の食品の情報
どのように どうする (具体的な方法)	車を出せる人と移動したい人のマ ッチング	システムに情報をのせて、消費者 がアクセス出来る様にする
検討課題	・マッチング方法 ・誰が運営するのか ・有償が可能なのか?(特区?)	・こういったシステムがいいか (H/P、アプリ、SNS?) ・システムの開発費がどれくらい 掛かるか
想定される成果	・QOL の向上 ・地域のつながり創出 ・雇用創出	食品ロス削減
その他(SDGsの 達成できる目標など)	③保健 ⑦エネルギー ⑧成長・雇用 ⑪都市 ⑬気候変動 ⑰実施手段	⑫生産・消費 ⑰実施手段 ⑦エネルギー ⑪都市 ④教育

【班の意見交換で提案された取組】

<地域ぐるみの移動サポート>

- ・有償送迎サービス(労力銀行方式+年会費(事務費)、利用する人→払う、送迎する人→貯金)
- ・移動サポート(高齢者を目的地に送迎する)自動車(HV/電気)・巡回バス(コミュニティ)
- ・運転のできる人が交通弱者の移動サポート(買い物、病院+市の行事参加)  
両者が登録し、マッチングするシステムを構築
- ・運転できる人に登録を呼びかけ
- ・普段歩く→ポイント(健康活動が移動支援に)
- ・希望の時→サポート
- ・有料による送迎(運転者と利用者をマッチングするシステム)

<IT を活用した食品ロス削減>

- ・食品ロスアプリ ECOBUY(期限近い食品購入→ポイント付与、シールを商品に貼って知らせる)
- ・もったいないフェスタ(ベルテラスで「もったいない」のキーワードでフェスタを(規格外野菜、フードバンク、陶器、もったいない市))
- ・買いすぎ抑制(アプリ開発、情報提供)
- ・消費期限間近、規格外食物の情報(システムに情報をのせる)

○地球環境班

テーマ	エネルギーの地産地消 促進サポーターを作ろう！
いつ、どこで (場面など)	5年(2024) 1年、3年、5年、10年後のロードマップ作成 生駒市内
誰が、誰に (主体、対象など)	市民 市 (ICP)
何を (取組内容)	発電 蓄電 省エネ エネルギーのシェア
どのように どうする (具体的な方法)	(市民) FIT 切れ太陽光の余剰電力売電 (地産地消)・ICP が家庭太陽光の電力買い取り ・電力供給 (畜エネ) 2019年問題対応 自宅への蓄電池 ICT を活用した電気をやりとりする仕組み(ブロックチェーンとか)
検討課題	何を魅力に設備を整えて売ってもらうか どうやったら生駒産の電力を買ってもらえるか? 費用対効果への理解、地産地消の魅力の理解 PR 個々の家庭からの電力の出入り測定(技術的課題)
想定される成果	クリーンで比較的安価なエネルギーを入手できる データの見える化→節約、低炭素化 地域経済の活性化 災害に強いまちに!(蓄電)
その他(SDGsの 達成できる目標など)	⑦エネルギー ⑪都市 ⑫生産・消費 ⑧成長・雇用 ⑨イノベーション ⑬気候変動 ⑰実施手段 ①貧困 ③保健

【班の意見交換で提案された取組】

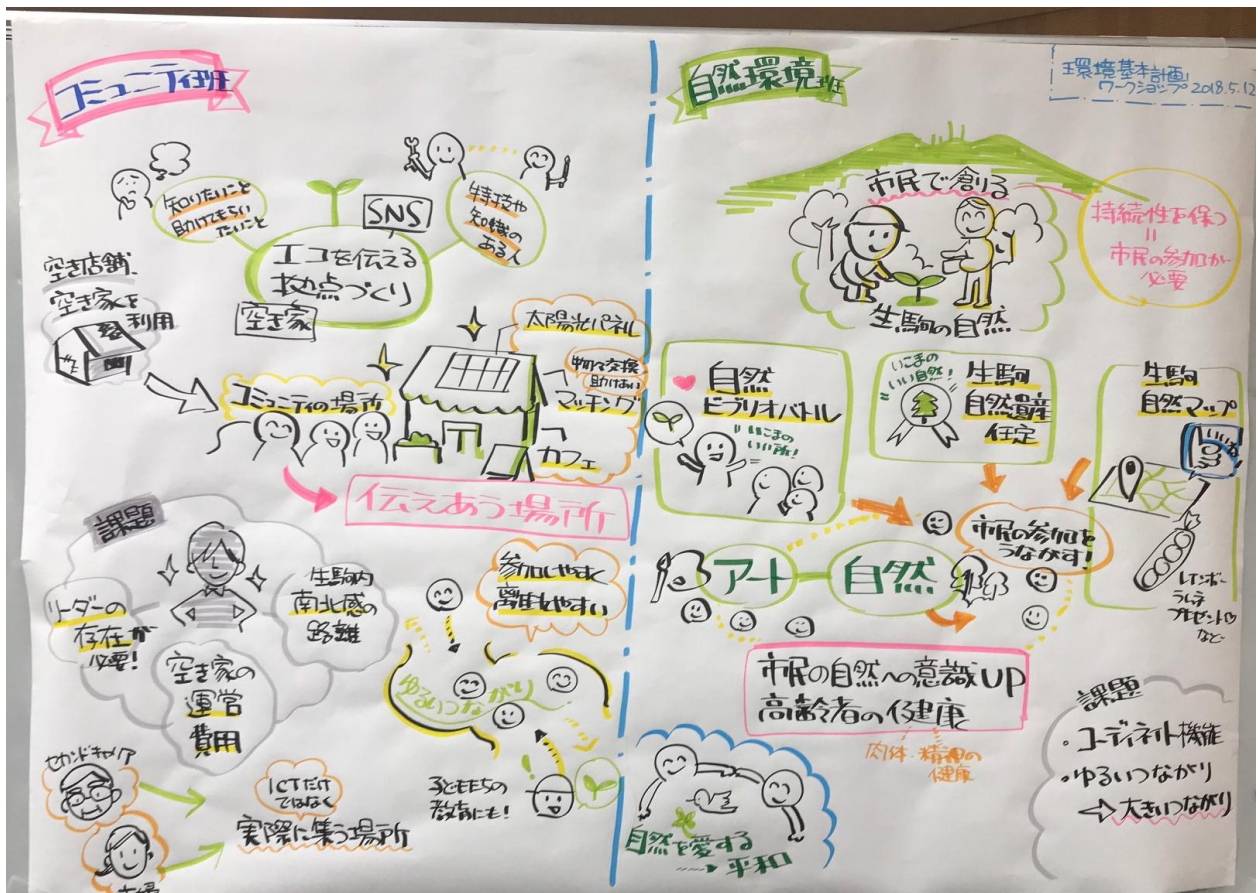
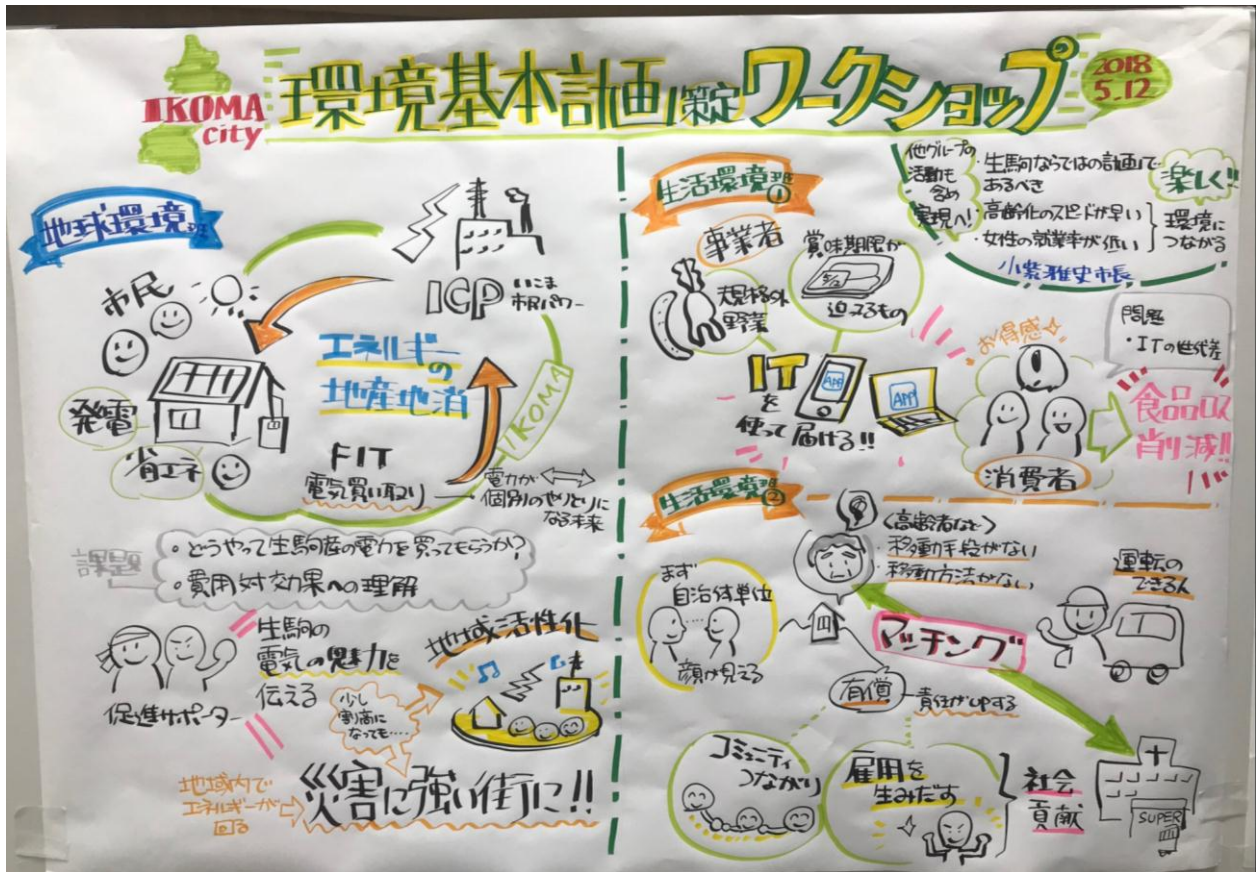
- ・エネルギーの生産<sup>↑</sup>、消費<sup>↓</sup>、エネルギー自給率10%<sup>↑</sup>
- ・省エネメリットの創設
- ・太陽光 ゴミ発電
- ・太陽光エネルギーの地産地消、自分の家で蓄えたエネルギーをシェアする(ブロックチェーンによるマーケット)
- ・電動自転車普及(購入、レンタル、貸出)  
購入者への補助金制度、レンタル・貸出制度の運用、(自転車使用に適した)道路整備
- ・既存省エネ補助制度の継続、補助拡大と省エネ促進(太陽光発電、燃料電池、HEMS、家庭用蓄電システム、省エネ家電買替え等)
- ・自動運転車(旧ニュータウンにおける多様な自動運転サービス)の実証実験、社会実装、測定値調査

## ○コミュニティ班

テーマ	伝える・集う・つながる
いつ、どこで (場面など)	必要な時に 空き家、空き店舗
誰が、誰に (主体、対象など)	自分の知識を生かしたい人 知りたい人、困っている人、興味ある人 エコなワークショップ/DIY
何を (取組内容)	伝える拠点づくり 空き家、店舗、SNS、施設
どのように どうする (具体的な方法)	カフェ エコな家づくり マッチング(物々交換、助け合い) 伝え合う(特技、好きなこと)
検討課題	ファシリテーター(リーダーではなく、世話役、集まるか) 費用・人材 稼ぐしくみ作り 場所(交通利便性)
想定される成果	環境意識↑ ゆるやかな集まり 街ing←マッチング お得感 お互いHAPPY
その他(SDGsの 達成できる目標など)	⑩実施手段:みんなで協力 ⑫生産・消費:物々交換 ⑧成長・雇用: かせぐ ⑪都市:空き家活用、コミュニティ ④教育

### 【班の意見交換で提案された取組】

- ・取組みの必要性、お得感、効果
  - 【伝える】話す・投稿、【動く】物々交換:物、助け合い:人
- ・コミュニティの場づくり、誰もが先生・誰もが生徒、(IKOMA サマーセミナーの常時開催)
  - 自分の持つ特技、専門知識、暮らしの知恵を教え合う
- ・相談会・情報提供、カフェ・イベント開催
  - 住民のボランティア募集、イベントプランとスケジュール、空き家の改造と維持
- ・コミュニティの活性、エコな家づくりを体験
  - 太陽光パネル、ワークショップ×アート、おしゃれな空間
- ・環境ウォークラリー、スタンプラリー、自然遊び(川、山、工作)、自然散策(ハイキング)、ホタル、間伐、そうじ体験
  - 各所を訪問・体験し、スタンプを集める、スタンプの数で粗品をプレゼント、子どもに生駒市環境博士認定証、子どもエコ大使認定証などを渡す
- ・メンバー募集、イベントします、助けて、教えて、譲って、使える不要品あります、教えます、こんなこと出来ます。情報は一定期間毎に更新(ボランティアスタッフ)
- ・「もったいないのでいませんか?」ということを中継者に伝え決まった日にもっていく、売れ残れば持って帰ってもらう
- ・各グループのテーマ(強いリーダーシップと高い意識、SNS、行政を巻き込んだ活動、PDCAを回す)



イラスト：吉田友子 (STUDIOPOKO)